

臺天目

510

臺天目

一天目ハ貴人ノ時之事也客ノアシライ也

式

一 中立ノ間法ノ如水指ノ前ニ茶入置合セ客坐ニ

著テ法ノコト少仕込夕ル臺天目持出

但持ヤウハ左ニテ
右ニテ天目ヨリ臺ノホ
ウツキハ持添ル

テ臺ヲ持右ニテ始ノ如ク持茶入ト置合セ勝手

ハ入水コホシ柄抄蓋置例ノ如クシテ持出柄抄

引キ一禮在テ臺天目初ノ如ク持前ハ置茶入前

ヘ取リ袋ヲ取茶入ヲフキ置付ル事常ノ如ク扱

茶扱ヲフキ茶入ハ掛茶筌置合水指ノ蓋ヲフキ

茶巾ヲ置事常ノ如ク扱初ノ如ク臺天目ヲ持少

シ前へヨセ柄杓ヲ持釜ノ蓋取り湯ヲ収シ天目
へ入但柄杓ヒキク
湯ヲアケルナリ扱釜へ拭両手ニテ天目ヲ取り上ケ
左ニテ湯ヲ捨テ右ニテ露ヲ切り又両手ニテ臺
へヨキ又湯ヲ入テ茶筌ヲ天目へ入両手ニテ天
目ヲ取上臺ノ左ノ方へ置但炉ノ時三度目ノ
湯ヲ今中蓋シメル扱帛ヲ出
シ四角ヲ拂ヒ真ニ疊ミ右ニテ持帛持ナカラ臺
ノ右へカケ左ニテ同左ノ葉ヲ持取り上ケ中ニ
テ臺ノ鬼灯ノ前ヲ左ヨリ右へフキ同向ヲフキ
葉ノ前ヲ同フキ葉ノ向ヲ左ヨリ右へフキ前ノ
左迄フキ廻シ又右へフキ戻シ留ル直ニ初ノ如
ク両手ニテ持下ニ置キ帛仕舞ヒ両手ニテ天目
ヲ取り左へ得ト持前中ニテ茶筌トウシヨスル

但覆輪在ハ音ナシ覆輪
ナキハ音在リテモヨシ直ニ茶筌ヲ置付左ニテ湯ヲ捨テ茶
巾ヲ取り露ヲ切り直ニ天目ノ内へ入茶巾取直
シ天目ヲフキ茶巾直ニ釜ノ蓋へ置キ但炉ノ時水指
ノ上ヘテク
両手ニテ天目ヲ臺へ置常ノ如茶扱ヲ取り茶入
ヲ左ニテ取茶ヲ能程入茶扱天目ノ内へカイ先
ヲ落シ入置茶入ノ蓋ヲシテ置付ケ茶ヲホトキ
茶扱ヲ天目ノ内ニテカイ先ヲ當拂ヒ茶扱ヲ拭
水指ノ蓋ヲトリ柄杓ヲ取直シ水ヲ指但炉ノ時扱取釜ノ
蓋ヲトリ
湯ヲ汲入レ茶筌ヲ取左手ヲ天目へ添茶ヲ細ニ
振り臭ル也茶筌元ノ所へ置キ両手ニテ臺ノ葉
ヲ持ナ客ノ方へ一膝開キ左リ手ヲ向ヘク右
前へ繰リ臺ヲ廻シ是臺ハ
右廻ナリ圖ノ所へ出シ直ニ其俣

向イ居但炉ノ時中仕廻
シテ後子向イ居

一客方臺ヲ両手ニテ取り前へ奇セ次へ一禮ヲシ

テ左ニテ臺ノ葉ヲ持右手ニテ天目ヨリホウツ

キへ持添戴キ茶ヲ吞但吞ヤウニ通り在右ノ通ト又此ノ下クシテ一口ニ吞
テ下ニ置天目ヲ取り吞テ又臺ノ葉次へ廻モ有又ハ一向

礼在テ天目ヲ見テ脇へ置キ臺ヲ見テ下ニ置キ

天目ヲ棄次へ廻ス段々此ノ如シ又末ヨリ上坐

へ廻ス上坐向前へ廻シ初ノ如ク主方へ返ス但初

メ茶ヲ吞テ廻ス時
モ段々下ニ置キ廻ス

一主方客茶ヲ吞天目ヲ見ル内点前へ向キ釜へ水

ヲ指カ或茶巾ヲ疊ミ直ス但炉ノ時ハ柄抄ヲ持釜ノ蓋ヲ取柄抄ヲ搥
茶巾釜ノ蓋へ置キ水指ノ蓋ヲ取ナリ

扱天目返リタル時客へ向イ臺ノ両葉ヲ持テ廻

リ前ニ置

一客此時惣禮ス

一主是ヲ受テ湯ヲ汲入両手ニテ天目ヲ取り左ニ

テ湯ヲ捨テ露ヲ切両手ニテ臺へ置仕舞ノ禮在

テ水ヲ汲入茶釜ヲ入左手ヲ添へ茶釜ス、キ臺

ノ上ニテスルナリ茶釜元ノ所へ置両手ニテ天

目ヲ持左ニテ水ヲ捨テ茶巾ヲ取天目ヲフキ茶

巾内へ入ヲキ両手ニテ天目臺へ置茶巾疊入茶

釜ヲ入茶抄フキ天目へ搥ル事常ノ如シ茶入片

奇臺天目初ノ如ク置合ス釜へ水ヲ指シ水指ノ

蓋ヲシメル

一客方茶入茶抄袋ヲ所望スル

一主是ヲ受テ柄杓蓋置仕舞ヒ臺天目ヲ假ノ坐ヘ
置茶入ヲ取り一膝開キ前ニ置フキ出シ茶杓袋
出ス事常ノ如シ

一柄杓蓋置キ水翻引臺天目初ノ如ク持入水指ヲ
引

一主天目ヲ引タル時客方茶入茶杓袋ヲ前ヘ取見
テ廻ス見終テ返ス事常ノ如シ

一主出テ一禮在但此禮客方
挨拶ノ処ナリ茶入茶杓袋持引事常ノ如
シ

以上

一茶杓ハ象牙塗茶杓竹節無決テ用茶筌ハ數穂ヲ
用ユ

一茶杓ヲ載ルニ兩様在臺卓スツレタレル時ハ天目ヘ搯
天目スツレタル時ハ臺ヘ搯但天目ヘ搯ル時ハ常ノ如クウツケ
臺ヘ搯ル時ハ仰向也陰陽ニナリ

一木地ノ臺ホノ目荒キハ豎ニ用目細キハ横ニ用

一臺天目平手前在リ是ハ持出ルハ法ノ如クシテ
点ル時ハ一向臺下ニ在ル斗ニテ常ノ如クナリ去

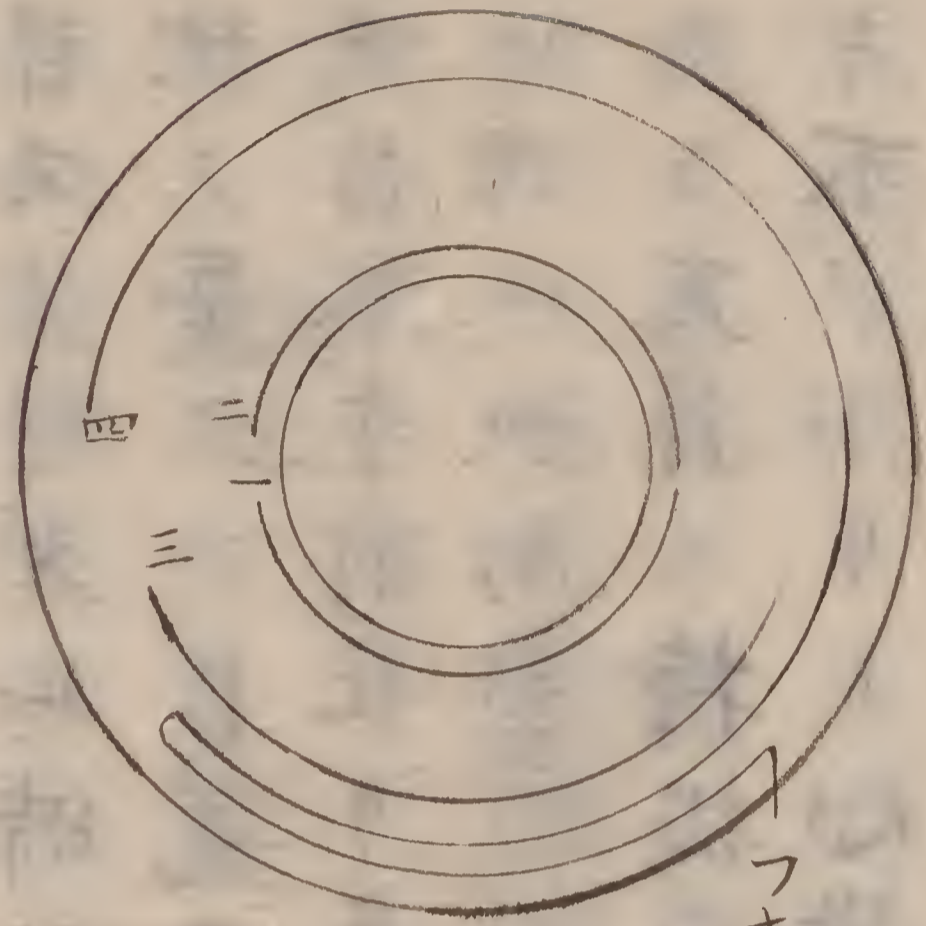
十カラ天目ノ持扱ハ法通り也臺ヲ客ノ前ニテ
フキ不申斗リト心得ヘシ是ハ天目傳授ナキ人

貴人ヲ招キタル時ノ也也

一貴人ノ時常ノ茶碗ヲ臺ヘ乗出ス事在リ臺ハ先
達テ釣棚道幸或ハ棚類アラハ出置茶手前ハ常

ノ如ク点テ扱棚ヨリ臺ヲ取り茶盃出ス所ヘヲ
キ臺ノ上ヘ茶盃ヲ兩手ニテ持一膝開キ置但臺ハ
棚ナリ

水翻時一所持出テ水翻置先へ置此ノ如スル事モアリ又至テ重
 扱仕廻ニ七
 時ハ通イノ者ハ渡シ置茶点々時持出ルモ在此時ハ直ニ通イ持行カヨシ
 又茶盃ヲ取前ニ置キ臺ヲ元ノ所へ揚ケ置又通
 仁持出タルハ通ヒ茶盃取タル跡ニテ引也
 一茶巾モ真ノ茶巾ニ疊ム也



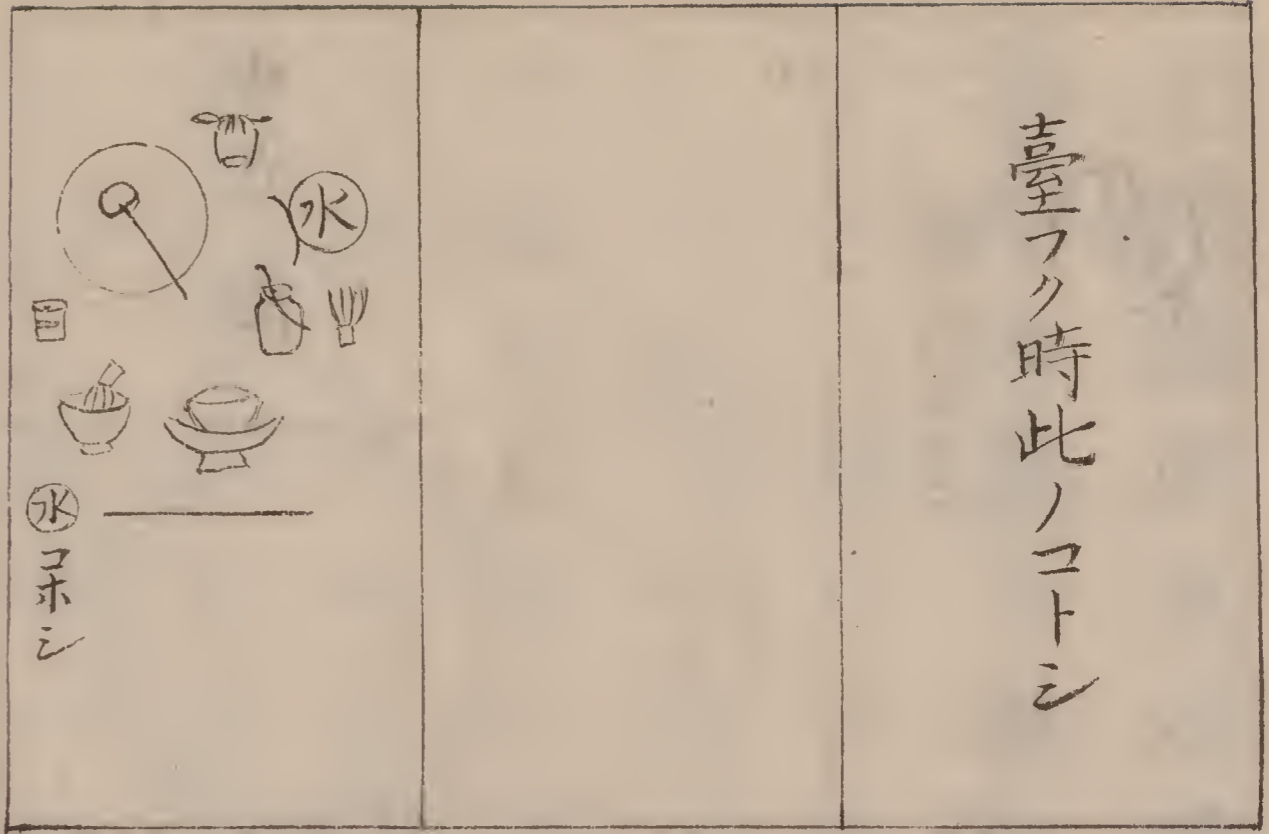
臺フキヤウ此ノコトシ

中立ノ間	
(水) 茶入	(風炉)

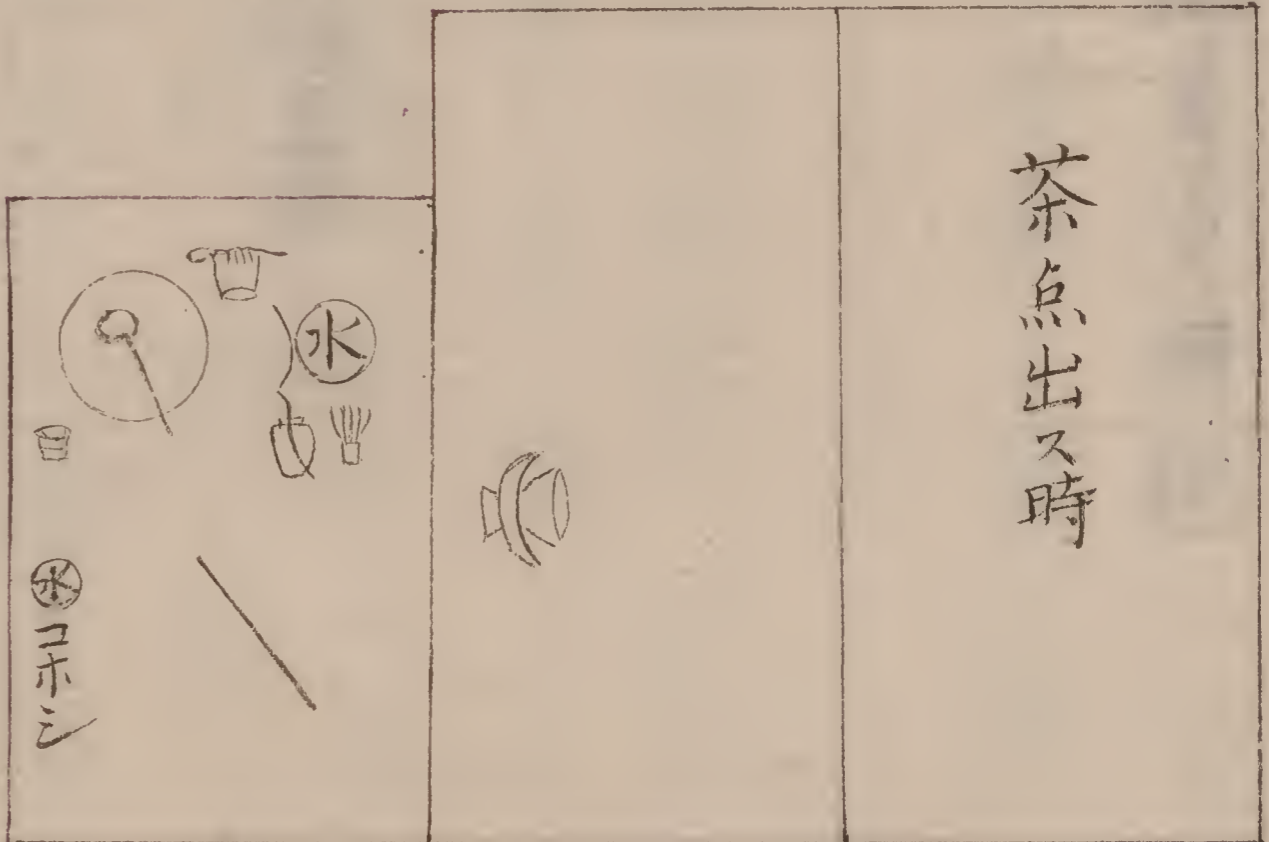
天目持 出置合	
(水)	(風炉)

○天目カリノ坐

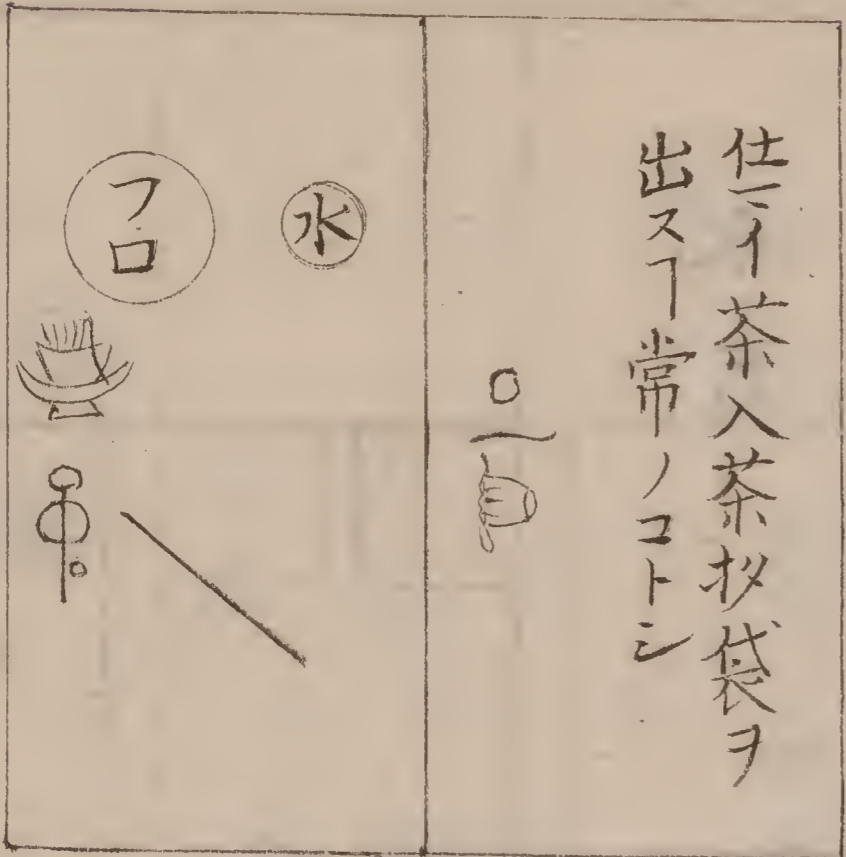
臺フク時此ノコトシ



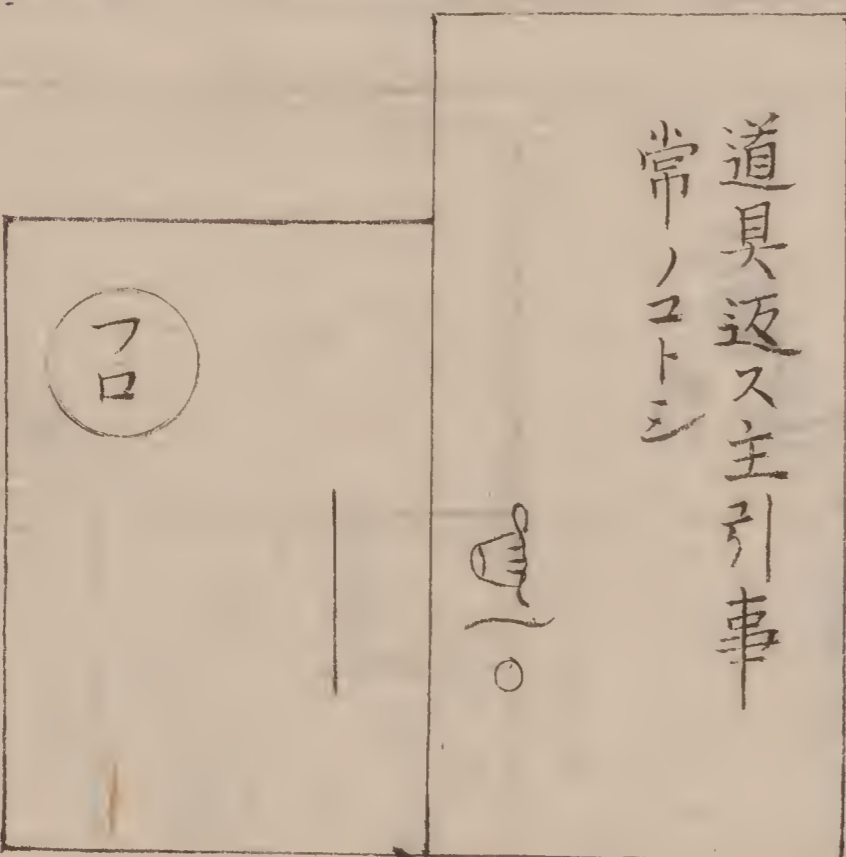
茶点出ス時

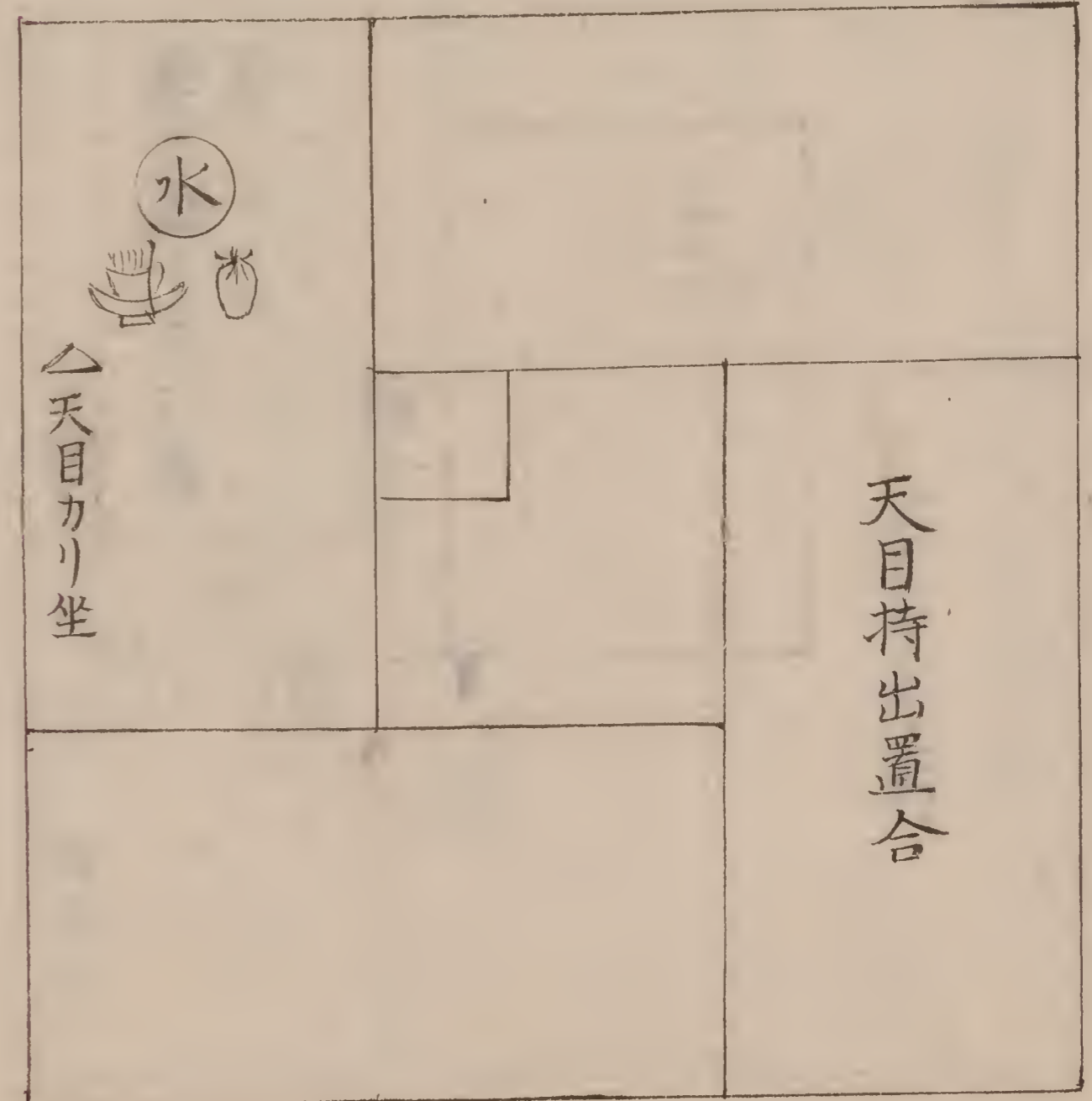
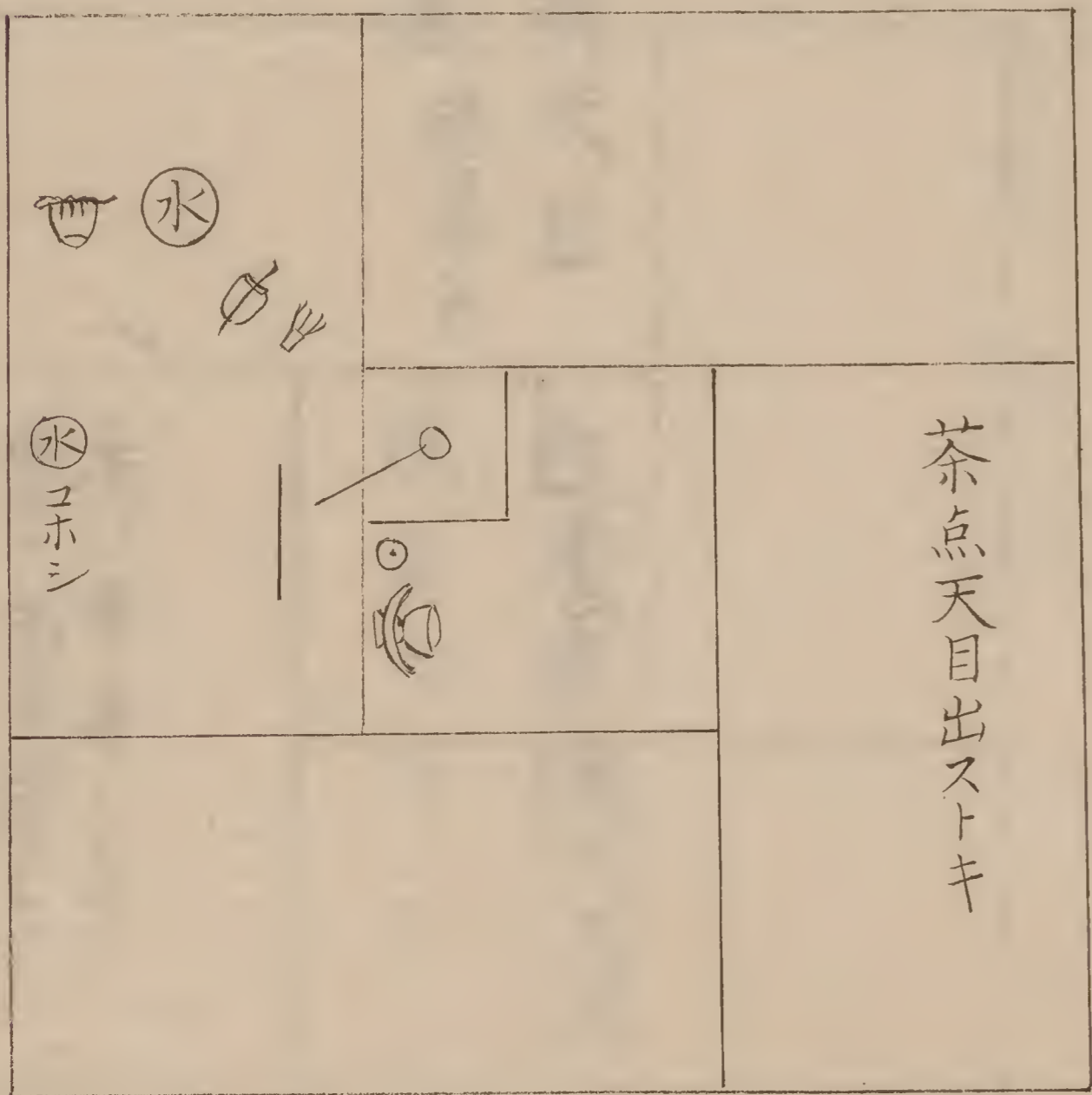
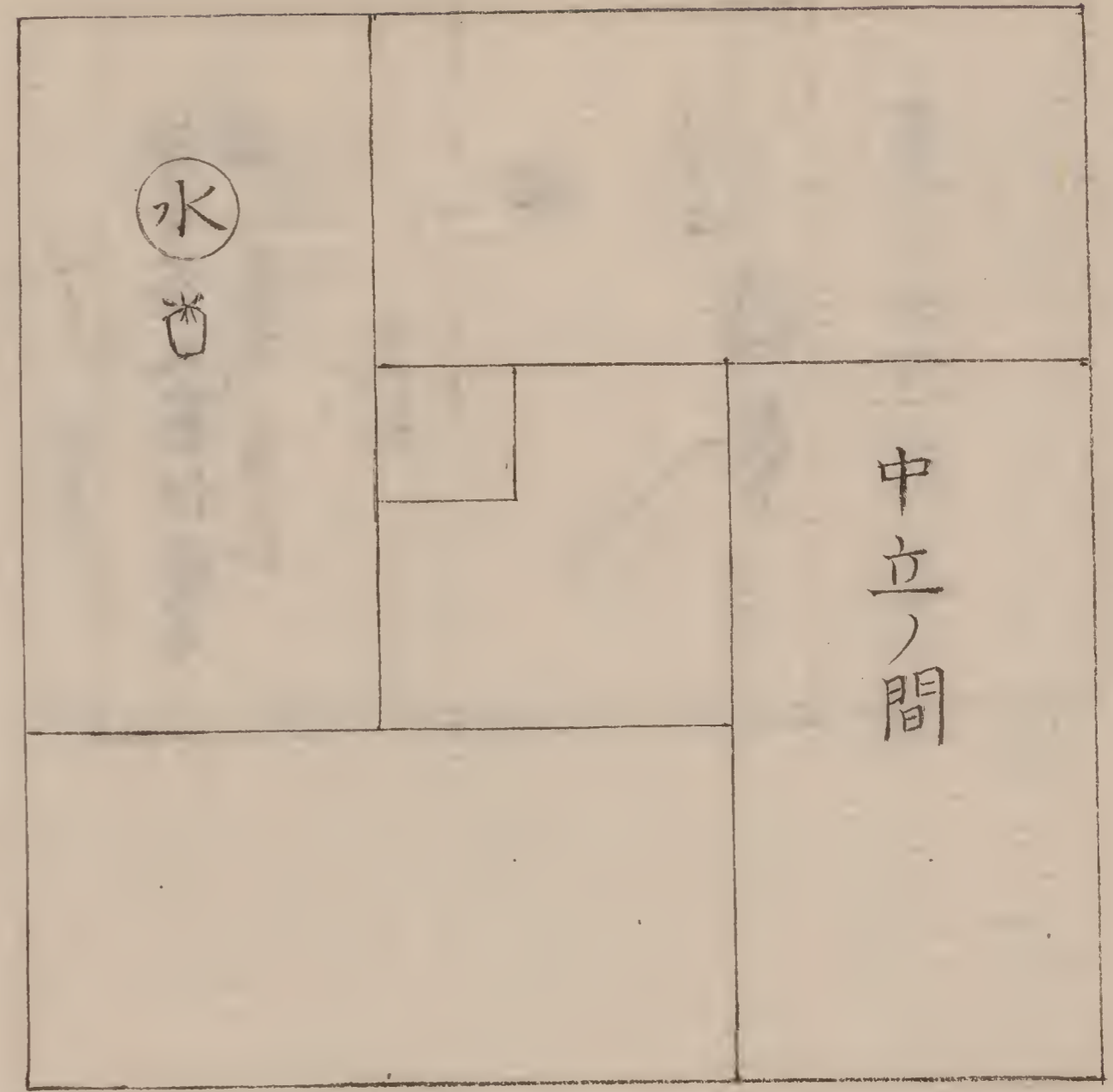
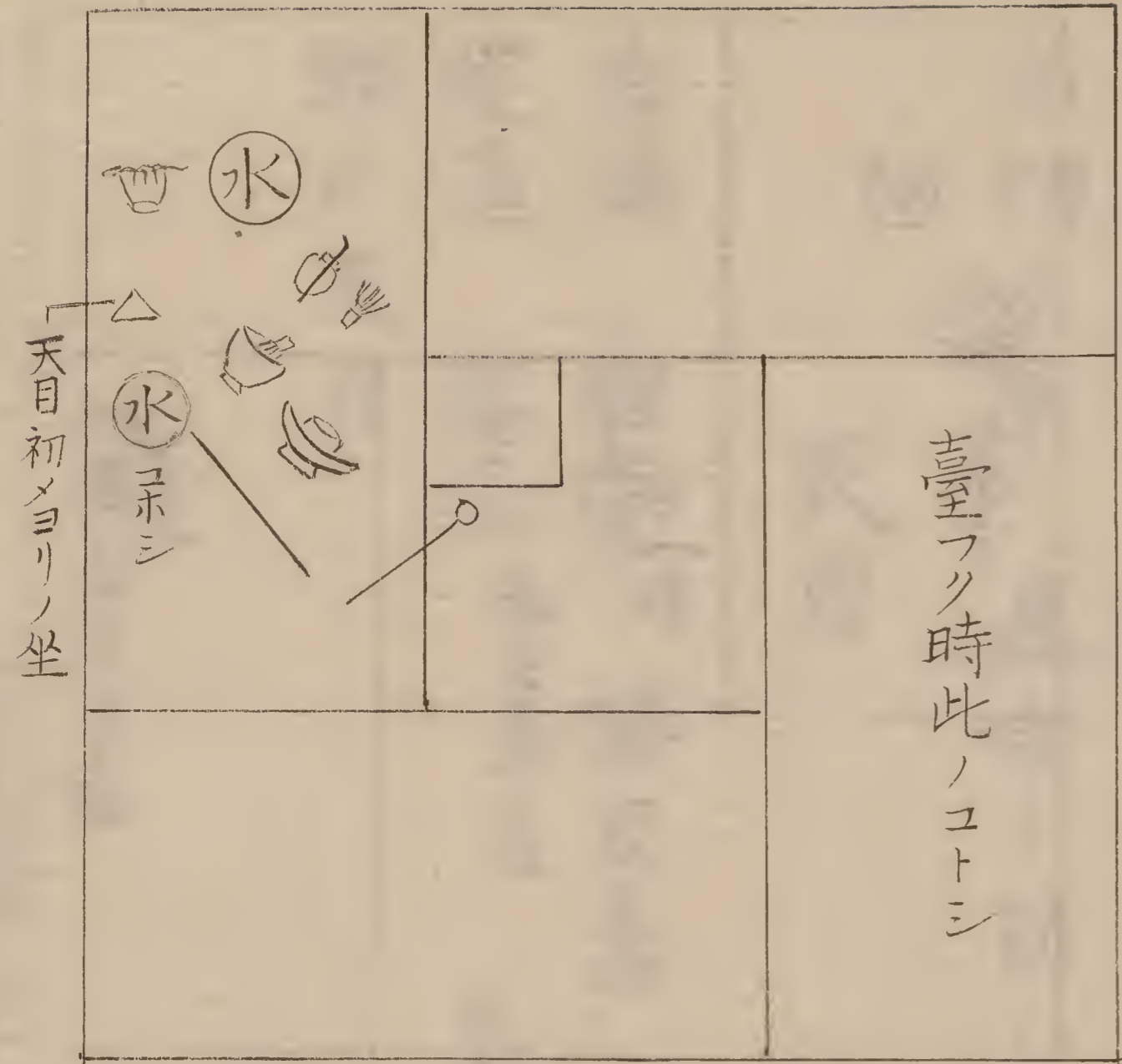


仕イ茶入茶扱袋ヲ
出ス一常ノコトシ

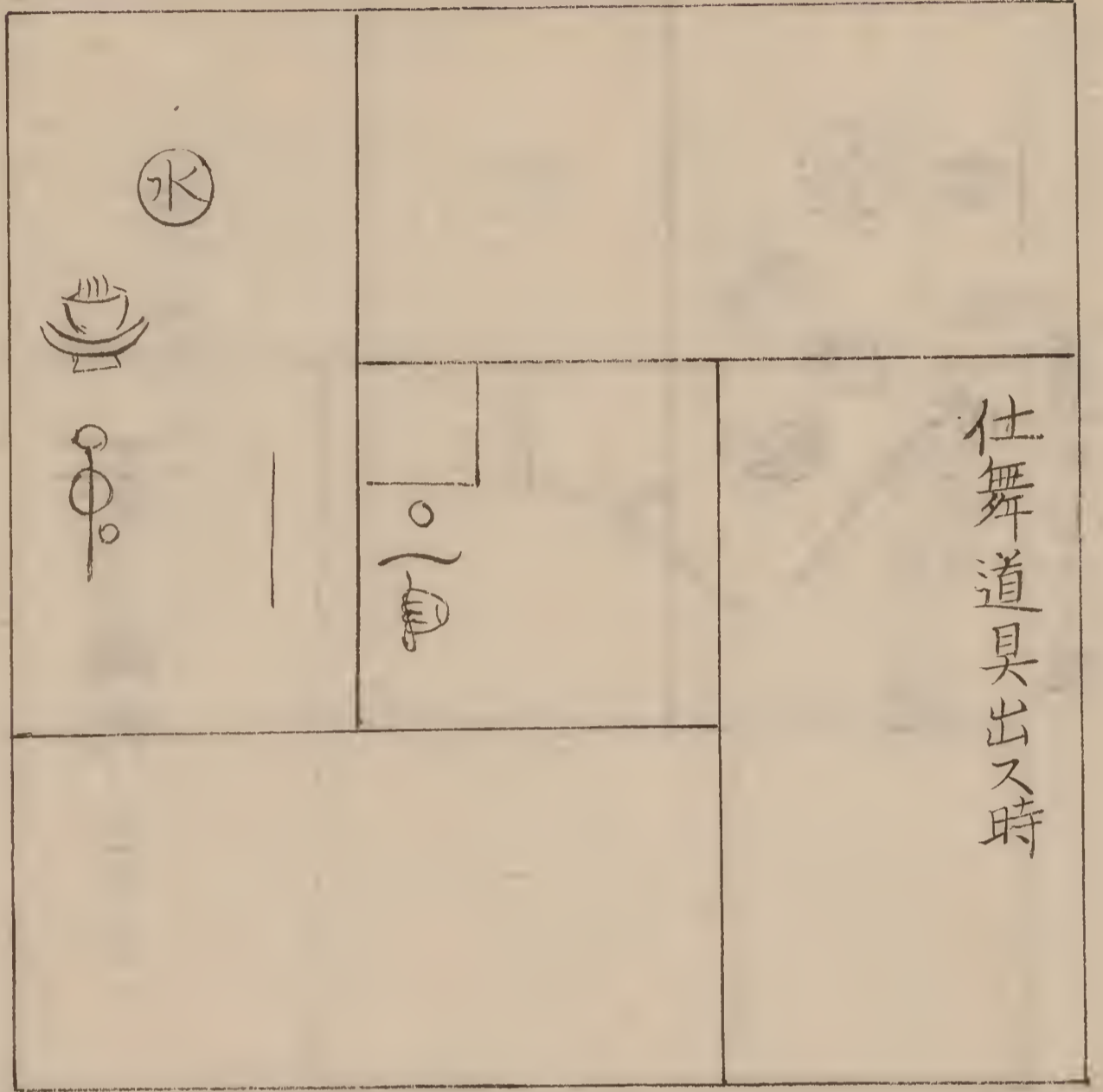


道具返ス主引事
常ノコトシ

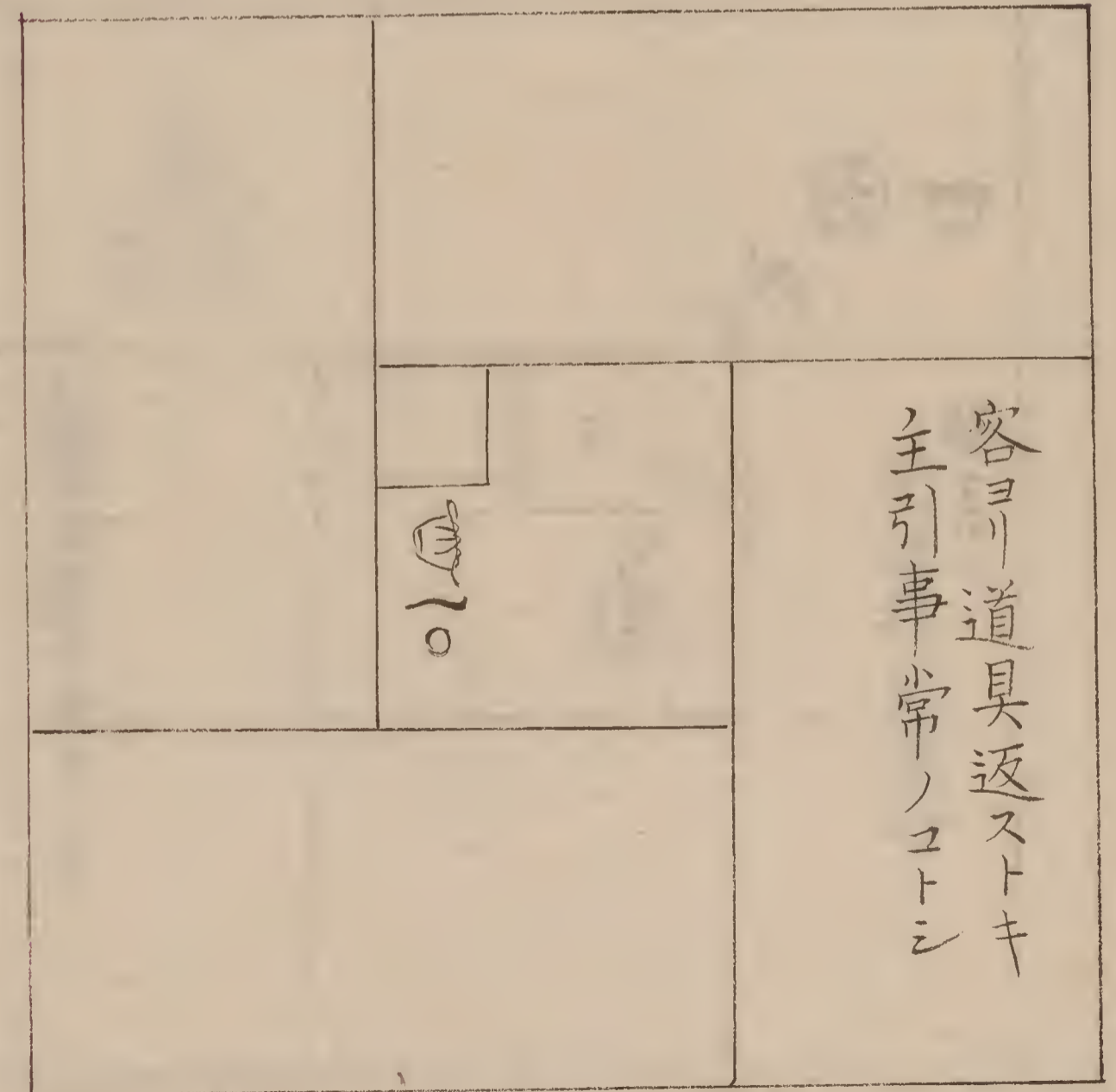




仕舞道具出ス時



客ヨリ道具返ストキ
主引事常ノユトシ



一 臺目ハ四疊半ニテユ夫スヘシ勿論茶入茶釜ト

茶入天目ト常ノ臺目同シ

一 向切モ常ノ置合ト同シ

天目

一 油滴 曜變 瑤皮盞 黄天目 白天目 繞州盞是ナリ

建盞 龍盞 瑤皮盞ノ内 烏盞 建盞ノ内

瀬戸天目 灰カヅキ

臺

一 印ノ臺

一 尼崎臺

俗名ニ蟬松ノ臺ト云業ノ字ノハフ字ノヤウニ書タルモノナリ
此ケ様ノ物ナリ
印在リ 梅鉢 數ノ臺トモ云

一利休形

黒塗 溜塗

楓

其外唐物

堆朱

青貝

クリク在

右從川上老師傳

宮田 明雅



茶人天目、常、壹日同

壹日、四疊半、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十

